



2011年3月27日14時30分  
独立行政法人 放射線医学総合研究所

## 放医研で受け入れた被ばくした作業員の状況について

独立行政法人 放射線医学総合研究所(理事長：米倉 義晴)

放射線医学総合研究所（以下、放医研）は、東京電力福島第1原子力発電所3号機での作業中に被ばくされた協力会社の作業員3名を3月25日の午後に受け入れました。この3名の方は、被ばくに関する検査等を行うため、現在も入院中です。

このうち2名の方は、くるぶしより下の部分を局所被ばくされていますが、現時点でこの部分の皮膚等に著明な変化は認められず、放射性物質による汚染の程度は低下してきています。また内部被ばくについては現在評価を行っていますが、被ばくによる健康への影響は無いものと思われます。その他の全身状態に問題はありません。

今後については、内部被ばくの評価等を引き続き行ないますが、3月28日午後にも3名の方全て退院する予定です。